



年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人岩手県測量設計業協会及び会員の皆様方におかれましては、設立当初から、岩手県の測量設計業界の健全な発展を図るため、会員企業の技術力の向上、品質の確保や経営基盤の強化等に努められるとともに、公共事業推進の重要な担い手として、社会資本の整備や災害復旧等に多大な御貢献を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国民、県民が日常生活を送るために不可欠な社会資本の整備に携わる事業者として、様々な困難の中、事業を継続していただいておりますことに、深く敬意を表します。

東日本大震災津波の発災以来、会員企業の皆様の御支援をいただきながら、社会資本の復旧・復興に向けた取組を各地域で進めることができ、国の復興のリーディングプロジェクトとして進められてきた復興道路・復興支援道路は、令和3年12月18日をもって全線開通いたしました。

また、東北地方にも大きな被害を及ぼした令和元年東日本台風災害に際しましても、発災直後から被災現場へ直ちに出動し、被災情報の収集や災害査定の申請に向けた測量設計業務等に会員一丸となって迅速に対応され、被災者の生活基盤の早期回復などに多大な御貢献をいただき、感謝を申し上げます。

さて、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」におきまして、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」を基本目標に掲げ、東日本大震災津波からの復興に最優先で取り組むとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の計画的な推進により、安全・安心を支える社会資本の整備や老朽化対策に取り組んでいます。

さらに昨年度からは、東日本大震災津波からの復興に向け、国において定めた「第2期復興・創生期間」の5年間でスタートいたしました。県としましても、引き続き、復興推進プランに基づく取組を進めていきます。

また、県では、平成31年3月に「いわて建設業振興中期プラン2019」を策定し、現在、生産性の向上と適切な施工の確保、働き方改革による担い手の確保・育成や、災害と維持管理への体制確保など、建設業・建設関連業の振興のための施策に取り組んでいるところですが、新年度からは、復興の先を見据え、建設業団体や建設関連業団体、各建設企業の皆様とも意見を交わしながら、新たなプランの策定に向けた検討に着手することとしています。

測量設計業は、社会資本整備を始め、近年多発する大規模災害や、老朽化が進んでいる公共土木施設の維持管理への対応など、県民の暮らしの基盤である社会資本の品質を左右する重要な業務であり、県民生活の維持・向上や地域の発展に欠かすことのできないものとして、その役割への期待は、より一層大きくなっています。

今後とも、県民生活の安全・安心や快適な暮らしに寄与する、より質の高い社会資本を提供できるよう、岩手県測量設計業協会及び会員の皆様には、なお一層の御支援と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人岩手県測量設計業協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。